



## ついに鉄道旅行のナンバーワン決定！ 『鉄旅オブザイヤー2019』グランプリは、

# 超低速スノータートル 「ナイトタートル～夜のトンネル探検～」

この度、鉄旅オブザイヤー実行委員会は、日本国内の優れた鉄道旅行を審査・表彰する『鉄旅オブザイヤー』の結果発表及び授賞式を、2020年2月5日（水）に「大宮鉄道博物館」にて開催致しました。第九回となる今年度、全国の旅行会社より応募された鉄道の魅力溢れる85作品の中から、鉄旅オブザイヤー実行委員会による第一次審査、外部審査員（審査委員長：芦原 伸さん）による第二次審査を経て選考されたユニークで魅力的な受賞作品を発表致しましたので、ここにご報告いたします。夢の鉄道旅行企画を募集した「一般部門」の受賞作品も発表致しました。 ※鉄旅オブザイヤーの詳細はこちら <http://www.tetsutabi-award.net/>

### ■ グランプリは、超高速スノーラビットならぬ、『超低速スノータートル』！ 一般部門『ベストアマチュア賞』も発表！

85作品の中からグランプリに輝いたのは、北越急行株式会社 桑原信之さん、大島一晃さんの作品、『超低速スノータートル「ナイトタートル～夜のトンネル探検～」』でした！

北越急行ほくほく線で運行している日本一表定速度が速い（88 km/h）と言われている「超快速スノーラビット」の対極としてあえてのんびりゆっくり走る（5～20 km/h）ことで、いつもとは違った沿線の風景を楽しめる旅行商品「超低速スノータートル」の夜バージョンとして誕生した「ナイトタートル」。列車の営業運転が終了した夜間に、一般の方が立ち入ることができないトンネル内の線路を約2.2 km（美佐島駅～しんざ駅間）を歩いて探検する企画で、参加倍率は募集人数の5倍という人気ぶり！夜食に地元南魚沼産のコシヒカリの新米を使ったおにぎりが配られるなど、このために県外から訪れた参加者にとっても、大満足なツアーとなりました。



審査員からは「ほくほく線にアイデアマンあり！「超快速」スノーラビットのデビューの衝撃はまだ記憶に新しいですが、まさかの逆転発想「超低速」。レアな現役路線の深夜のトンネルウォークに参加者も大興奮だったのでは。特製グッズでヘルメットというのは史上初？！冗談みたいな発想をしっかりと形にして楽しませ、確実にファンを獲得し続けるほくほく線の皆さんに拍手！」（シンガソングライター オオゼキタクさん）など非常に高い評価を集めました。

一般部門では、鉄道旅行ファンから「夢の鉄道旅行企画」を募集。「ベストアマチュア賞」は、2020年4月のdestinationキャンペーン開催地である群馬県を対象とし、上毛かるたを3日で33枚網羅できる、前芝雄太さんの作品『上毛かるたから学ぶ「まだ知らない群馬の歴史」と鉄分満喫ツアー』が受賞し、賞金と記念品が贈られました。

全体総括として「今年はノミネートされた5作品以外も旅情感があるものなど、素晴らしい作品が多かった。来年は第10回今から期待している。」と芦原伸審査委員長のお言葉で締めくくられました。



### ■ 令和新時代！鉄道好き著名人が、「わかもの言葉」をレクチャー？！

授賞式後は、鉄道好きで知られるダーリンハニーの吉川正洋さん、女子鉄アナウンサーの久野知美さん、ホリプロマネージャーの南田裕介さんが、新元号令和になったことを記念して「わかもの言葉」をレクチャー？！イマドキわかもの言葉を解説していたはずが…「盛る」は「モハに乗ること」、『タピる』は「竜飛海底駅に行くこと」など鉄道トークがさく裂し会場は笑いに包まれました。





# 「鉄旅オブザイヤー2019」 受賞作品



## ●旅行会社部門



### グランプリ（1作品）

#### 超低速スノータートル「ナイトタートル ～夜のトンネル探検～」

北越急行株式会社 営業企画課長 桑原 信之さん  
北越急行株式会社 営業主任 大島 一晃さん



### 準グランプリ（1作品）

#### 日本で唯一の行商専用列車 近鉄「鮮魚列車」

クラブツーリズム株式会社 第3国内旅行センター 大塚 雅士さん  
クラブツーリズム株式会社 JR販売センター 田中 研吾さん



### 審査員特別賞（1作品）

#### 願いが叶う福袋列車！？

#### 只見線&陸羽西線 東北2大ローカル線「災害復旧祈念応援福袋列車」

株式会社読売旅行 山形営業所次長 小田 竜太さん  
日本観光鉄道 代表 野村 浩志さん



### ルーキー賞（1作品）

#### No.8265 貸切車両で行く「三陸鉄道全線乗車」と貨物専用鉄道「岩手開発鉄道」に迫る旅

株式会社 朝日旅行 営業部 営業担当部長 国内商品担当 高坂 健彦さん



### DC賞（1作品）

#### 「サロンカーなにわ」で復活 「サロンカー明星」で行く熊本

株式会社 日本旅行 おとなび・ジパング商品部 金船 裕さん

## ●一般部門



### ベストアマチュア賞（1作品）

#### 《群馬県》上毛かるたから学ぶ「まだ知らない群馬の歴史」と鉄分満喫ツアー

前芝雄太さん

## ■「鉄旅 OF THE YEAR」とは



### 【表彰対象】

#### ★旅行会社部門★

2019年10月までに催行決定の日本国内を目的地とする募集型企画旅行および受注型企画旅行とします。  
(受注型の場合、オーガナイザー名は伏せるが、出品する了解は企画実施会社がオーガナイザーから取ることとする。)  
※鉄道旅行の魅力がツアーの中心にあり、企画性、オリジナリティが高いものとします。  
※一定の受注実績を上げたツアーとします。

#### ★一般部門★

旅行会社以外の一般の鉄道旅行ファンの皆様の「こんな鉄道旅行、ツアーがあったらいいな」という、鉄旅ファンの夢の企画を募集。

企画条件：2020年度デスティネーションキャンペーン開催地である、群馬県、広島県とその周辺地域（岩国・今治・松山・倉敷等）、京都市のいずれかを対象とした鉄道旅行ツアー企画を募集。

### 【選考・表彰に関して】

#### ●表彰

##### ・旅行会社部門

グランプリ(1)、準グランプリ(1)、審査員特別賞(1)、DC賞(1)、ルーキー賞(1)

※ルーキー賞とは、過去受賞したことがない旅行会社による作品で、コンセプト・内容等について審査員が評価したものを。

##### ・一般部門

ベストアマチュア賞(1) 賞金5万円+JR協賛による記念品 計6作品

※今回の一般部門は、計50作品の応募があり、その中から1作品を選出。

### 【審査】

・鉄旅オブザイヤー実行委員会

・外部審査員

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 委員長 芦原 伸  | 一般社団法人 日本旅行作家協会 専務理事、「旅と鉄道」名誉編集長 |
| 委員 井門 隆夫  | (株) 井門観光研究所、高崎経済大学地域政策学部観光政策学科教授 |
| 委員 五十嵐 匡一 | 月刊「旅の手帖」編集長                      |
| 委員 榎本 聖之  | バー銀座パノラマ渋谷店オーナー                  |
| 委員 オオゼキタク | シンガーソングライター                      |
| 委員 大塚 圭一郎 | 共同通信社福岡支社編集部次長、鉄道コラム「汐留鉄道倶楽部」執筆者 |
| 委員 栗原 景   | フォトライター                          |
| 委員 崎本 武志  | 江戸川大学社会学部現代社会学科 教授               |
| 委員 杉山 淳一  | フリーライター                          |
| 委員 鉄旅ガールズ | 鉄旅好き女子                           |
| 委員 南田 裕介  | 鉄道好きマネージャー (株式会社ホリプロ)            |
| 委員 豊岡 真澄  | 元祖鉄道アイドル、ママ鉄代表                   |
| 委員 矢野 直美  | 旅をしながら「撮って書く」フォトライター             |

※敬称略・五十音順

### 【組織】

■主催：鉄旅オブザイヤー実行委員会（委員長 堀坂 明弘）

■委員：鉄道旅客協会

■後援：北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、  
西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、  
一般社団法人日本民営鉄道協会、公益社団法人日本観光振興協会、  
一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会

■協力：交通新聞社、旅行メディア各社